



# 津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 永井 隆和 Tel.288-7420

令和4年2月28日(月) NO.11

校訓 ☆燃えるような情熱 ☆ひたむきな純粋さ ☆たゆみない向上心



## 「校歌への思い」

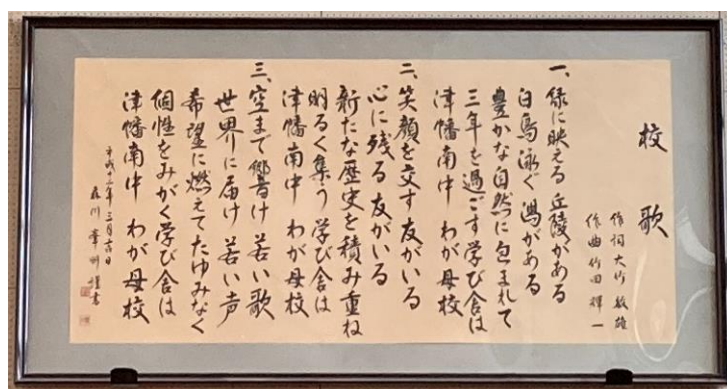
校長 永井 隆和

人には、喜び、悲しみ、驚き、怒り、恐れなどの基本的な感情とは別に「なつかしい」という感情があります。「なつかしい」という感情は、昔の歌などにふれたときに感じ、同時に自分の過去に経験した思い出や感情が掘り起こされることがあります。校歌は、その懐かしさを感じる歌の一つではないでしょうか。

改めて、生徒・保護者の皆さんに聞きます。津幡南中学校の校歌をどんな思いで歌いますか。聞きますか。コロナ禍の影響で全校集会でも歌わなくなり、ましてや作詞、作曲者のお名前や、どんな想いで作ってくれたかも知らないことでしょう。

そこで、卒業式を前に私は、作詞者の大竹敏雄さんに来校していただきお話を伺うことにしました。

大竹先生は、大学生の頃から作詞を始め、校歌は町内の三校（本校、大白台小、条南小）、県外の二校、計5曲作っています。歌謡曲、童謡、新民謡（音頭）などCD化されたり、YouTubeで流れている曲は300曲あまり。その他に、社歌、会歌、CMソングなどもあります。



津幡南中学校の皆さんへ 私がどんな気持ちで作詞をしたか、簡単に記してみましよう。

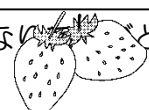
津幡南中学校校歌は、開校の前年（平成10年）地元紙などで募集を知り、それに応募して入選したものです。従来の校歌は大人目線のものが多く、重圧感があったので、生徒目線で、かつ平易な（分かりやすい）言葉を念頭に作詞しました。二題目にある通り新設校ゆえ、年々新たな歴史を積み重ね自分の学校を誇りに満ちた思いで学べる中学生になってくれるよう、心を込めて言葉を紡（つむ）ぎました。そして、三題目には、一人一人が自分の個性に磨きをかけ、成長して欲しいという思いを込めました。

三年間、折にふれ、生徒の皆さんに歌ってもらえることは何よりの喜びです。卒業後も心にしっかりと根付いてくれることを切に望んでおります。津幡町の鳥である白鳥のように、明日へと羽ばたいてください。

令和4年2月14日

津幡南中生しか歌えない校歌を歌詞に込められた思いをよく考えて、誇りをもって歌っていきましょう。

本年度もあと僅かとなりました。保護者・地域の皆様には、この一年間、大変お世話になりました。今後とも本校のご支援を宜しくお願い申し上げます。



## 【3月の生活目標】

# 1年のまとめとともに、新学年に向けての心構えを持って生活しよう

### 【北京オリンピック日本の選手の言葉から】

試合後の選手の言葉には、一人ひとりの選手が、北京オリンピックに向けて取り組んできた自分自身のことを振り返り、これから自分自身が進んでいくための思いが、あふれていました。

- 「一生懸命頑張りました。正直、これ以上ないくらい頑張ったと思います。まあ、報われない努力だったかもしれないですけど。でも…。確かにショートからうまくいかないこともいっぱいありましたけど、むしろうまくいかないことしかありませんでしたけど、一生懸命頑張りました」

【男子フィギュアスケート個人4位：羽生結弦】

- 「2本目の点数は納得いってなかったんですけど、そういう怒りが自分の気持ちの中で表現できた。」

【スノーボード男子ハーフパイプ1位：平野歩夢】

- 「準備もしっかりやっていましたし『後はスタートに反応していだけ』というふうに思っていたのですが、足がとられてしまった瞬間に頭の中が真っ白になってしまって……。その後はもう前を向いて、歯を食いしばって最後まで滑るしかないという気持ちで滑りました。」

【女子スピードスケート1000m10位：小平奈緒】



みなさんも、4月からは、新しい学年（3年生は、新しい学校で）で1年がスタートします。学校生活の流れは、1年間で大きく変化することはありません。言ってみれば、「前年同学」です。しかし、その中で、今年1年間の自分の反省点を改善・克服したり、同じ過ちを繰り返さないように自分自身の学校生活がより良くなるために、取り組んだり、行動できる人になってほしいです。



### ★学習指導より 生徒の皆さんへ★

## 《今年度の締めくくり、そして、次のステップへ・・・》

3年生は、いよいよ公立一般入試に向けての仕上げの時期となりました。これまでの自分の努力を振り返ってみてください。それが必ず当日の不安から自信へと変わっていくはずですよ。2年生は、講座学習が始まり、家庭学習が習慣になり始めた時期かと思います。これから1年間の受験勉強がスタートしていきます。まずは、学習の習慣化を！毎日少しずつの努力の積み重ねが、みなさんの力となります。1年生は、あと一カ月もすれば上級生です。新入生の見本となる学習姿勢を身につけられていますか？これまでの先輩方の良き姿勢をしっかりと受け継いでいきましょう。

## 3月の学習目標について

### 一年間の学習の締めくくりをしよう

◎頭括型の話し方を意識して

◎積極的な挙手・発言

◎提出物は期限内厳守

◎わからないところを重点学習

## 『出来る、出来ないを決めるのは自分だ』

元プロテニスプレーヤーの松岡修造さんの言葉です。とても前向きに自分を、周りを励ましている松岡さんですが、過去に一度だけ後ろ向きな気持ちで試合の朝を迎えたことがあったそうです。お父さんに電話をしたところ、「そんな気持ちじゃ話にならん！帰ってこい！」と一喝されたそうです。そこで、いい意味でヤケになった松岡さんは、39℃の高熱の中、格上の選手に勝てたそうです。どんな困難な状況であっても、「やる」「やらない」を決めるのも自分だし、「出来る」「出来ない」を決めてしまうのも自分自身です。3年生のみなさん、それぞれの上級学校進学後は、これまで以上に授業内容も難しくなり、進み方も速くなります。毎日の予習・復習なしにはついていけません。ときには、つらいと感じることもあるでしょうが、それはみんな同じ。これから受験に向かう2年生にとっても同じ。すべては、自分が「出来る」と思えばできることが増えます。それぞれの新たなステージで精いっぱい努力を重ねていきましょう。